

6—特別に注意が必要な人への対応

1 身体障害・視覚障害・聴覚障害のある人

- 障害の内容を把握する。
- バリアフリーや必要なサポートについて把握する。
- トイレや出入り口にアクセスしやすい場所・サポートを受けやすい場所を確保する。
- そのような場所にすでに人がいた場合には、避難所の責任者ととも場所を譲ってもらえるように依頼する。
- 周囲の避難者に、障害の内容や必要なサポートについて説明し、理解を求める。
- 視覚障害や聴覚障害がいる場合、必要なサポートが分かるよう掲示板を使ったり、表示を行ったりする。

2 高齢者

高齢者は、自分から不自由や不具合を言い出さない場合が多い。困っていることは何かと声を掛ける。

【移動・歩行困難】

- **原因**：腰痛・膝痛・筋力低下・筋肉痛など。
- **対応**：いす・ベッドの使用。外用薬・内服薬の服用。理学治療・体操。関節注射などの治療や温熱療法。

【摂食・嚥下困難】

- **原因**：脳卒中・廃用症候群・歯科/口腔疾患・入れ歯の紛失

3

避難所での心得

6 特別に注意が必要な人への対応

- **対応**：食事の内容の調整、食器や器具の調整、食べる環境の調整、歯科の受診。

【孤独・不安】

- **原因**：被災状況・家族の状況・家財の状況はどの程度なのかが不明で不安。
- **対応**：
 - ・原因/背景を理解する。食欲があるか、睡眠が摂れているかの確認。
 - ・話し相手になる。
 - ・医療班に伝え、内服などの治療を行う。
 - ・心のケアチームへの対応を依頼する。

3 妊婦

- 助けが必要な妊産婦がないかどうかを呼びかける。
- 助けが必要な人がいたら、状況を聞きにそばに行く。
- 現在の状態を把握する：月齢／合併症／これまでの経過／初産・経産の別など。
- 切迫流産・切迫早産などが疑われる場合は、早期の搬送を依頼する。

【交通遮断・通信途絶などで、搬送ができない場合】

- 安静にして待機する。
- 妊婦は不安が強いので、家族などの付き添いが必要。
- 頻回に様子を見に行く。